

12, 1, 2月のみごろの花・生きもの



スズサイコ (鈴柴胡)
ガガイモ科／真っ白で羽毛のようなふわふわの種



ナガバジヤノヒゲ (長葉蛇の鬚)
キジカクシ科／ラピスラズリのように輝く青い実



ススキ (薄、芒) とオギ (荻) の草原
イネ科／ススキは乾いた場所を好みが、オギはやや湿気た場所を好み



ヒガンバナ (彼岸花)
ヒガンバナ科／青々とした葉で冬の陽を独り占め



ハハコグサ (母子草)
キク科／ゴギョウの名で呼ばれる春の七草



ニホンズイセン (日本水仙)
ヒガンバナ科／1月～寒中に咲く芳香ある花



あいな里山 雪の景
雪降り積もる柿 一面の銀世界が見られる冬は稀



ヤブコウジ (藪柑子)
サクラソウ科／別名“十両”林内に生える縁起物



サルトリイバラ (猿捕茨)
サルトリイバラ科／葉は柏餅に実はリースに

十二月旧称二十四節氣 七十二候

師走 大雪

冬至

閉塞成冬そらきむくふゆとなる
熊蟄穴くまあなにこもる
鯨魚群さいけうおむらがる
乃東生なつかがれくさしょかず
麋角解めいのつののつのおつぎ
雪下出麦ゆきわたりておきいりる

一月旧称

睦月 小寒

大寒

荒乃榮せむすなわちよかう
水泉動みずあたみをふくむ
雉始雊いとじはじめて鳴く
款冬華いんきのはななき
水沢腹堅みずわみぞごおりづめる
鶴始乳つるはじめてとやにく

二月旧称

如月 立春

雨水

東風解凍ひがしこおりをとく
黃鸝眠やぐいすねく
魚上冰うおこおりをいわす
土脉潤起どまいのしょうするおいおこる
霞始蟻かすみはじめてだなびく
草木萌動そうもくめめうきする

樹木



ムラサキシキブ (紫式部)
シソ科／平安の才女に例えられた艶やかな実



ヤマコウバシ (山香ばし)
クスノキ科／冬に葉を落とさない香氣ある落葉樹



モチツヅジ (鶴躑躅)
ツツジ科／冬の紅葉が見事な半落葉樹



ソヨゴ (冬青)
モチノキ科／そよそよと風の音色を奏でる葉



ヤブツバキ (薮椿)
ツバキ科／1月～照葉樹林を代表する鳥媒花



ウメ (梅)
バラ科／2月～うめ林には花梅と実梅があり



オオムラサキ (大紫) 幼虫
タテハチョウ科／エノキを食樹とし、落ち葉で越冬



オオカマキリ (大蝠蟻) 卵鞘
カマキリ科／200個ほどの卵が入った鞘で越冬



ニホンアカガエル (日本赤蛙) 卵囊
アカガエル科／1月～凍れる池でじっと春を待つ



カシラダカ (頭高)
ホオジロ科／冬の野辺で冠羽を立てて餌探し



ツグミ (鶲)
ヒタキ科／冬空を切り裂くキヨキヨキヨの声



シメ (鶲)
アトリ科／強力なくちばしで種子を割る



オシドリ (鴛鴦)
カモ科／木陰の水辺にひっそりとカラフルな羽



ノスリ (鷹)
タカ科／樹上からネズミや昆虫類を狙う



ニホンイノシシ (日本猪) 足跡
イノシシ科／雪の朝の楽しみは足跡ウォッチング

動物

